

化学実験教室公開講座で 解熱・鎮痛剤 「アスピリンの合成」を行いました。

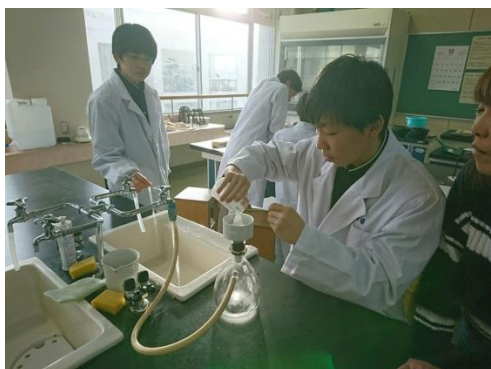
【2018/12/26】

12月26日（水曜日）午後、本校工業化学科の、実習棟A棟3階化学反応実験2室において、化学実験教室公開講座 解熱・鎮痛剤 「アスピリンの合成」を行いました。

参加者は中学生5名、小学生1名、保護者4名で行いました。実際に在校生も使用している実習着の白衣を着て挑みました。高校3年生レベルの製薬会社と同じプロセスで頭痛薬のアスピリン（アセチルサリチル酸）を化学合成する高度な実験でしたが、最終的に全員合成することが出来て成功しました。

参加者の感想として、「アスピリンの合成をやってみて、化学合成で薬の成分をつくる事が出来るのは凄いなと思いました。痛みなどが治るのは化学のおかげだなと思いました。是非久喜工業高校の工業化学科に進学したいです。」や「実際に自分の手で薬をつくる事が出来て、さらに、実験が楽しくなりました。薬をつくるために、こんなに時間と手間がかかる大変さも知りました。来年この学校に入学出来たら、こういった実験をまたやりたいです。」「最初はただの粉に見えた原料のサリチル酸でしたが、加工してアスピリンを合成した後、再結晶しトゲトゲした針状結晶になり関心をもちました。」「今日の公開講座で化学に、より一層興味を持ちました。アスピリンの合成は3年生で行うとのことですが、いち早く入学前に出来て楽しかったです。公開講座をきっかけに化学についてもっと勉強したいと思いました。」との感想をいただきました。

参加された皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



結晶化させたアスピリンを再結晶し純度を上げて結晶化させる様子



完成したアスピリン